

特集

脳死について知る

企画 本誌編集委員会

本特集は、脳死を神経学というサイエンスの視点から考える意図で企画された。ただし、日本では脳死と臓器移植の問題を切り離すことは難しく、科学的視点と移植医療の視点の双方が重要である。鼎談では本邦での脳死および臓器移植の現状について議論を交わした。各論では法的脳死判定の実際、脳死の神経生理や画像検査、諸外国と比較した日本の現状、そして倫理の問題などを取り上げている。2020年に脳死判定の国際コンセンサスが発表され、標準化に向けた流れが進む一方で、本邦の厳格な基準とは異なる面もみられる。脳死医療に関する知識を整理するとともに、今後の展望、そして医療スタッフの関与のあり方について考えたい。